

# 八王子都市計画公園事業第3・4・32号宇津貫公園事業

受賞機関 都市基盤整備公団東京支社東京西部都市整備事務所

## 事業の概要・特徴

### (1) 諸元

都市施設：都市公園（近隣）

実施機関名：都市基盤整備公団東京支社東京西部  
都市整備事務所・七国六丁目町会

名称：八王子都市計画公園第3・4・32号  
宇津貫公園

事業期間：平成9年9月26日～平成15年3月31日

規模：面積 約4.1ha（大規模近隣公園）

事業費(工事費)：332百万円

### (2) 位置づけ・公園計画概要

当該近隣公園は、八王子みなみ野シティ（開発面積約400ha、計画人口28,000人）の中央部に位置する面積約4.1haの都市基幹公園である。八王子みなみ野シティは、東京都心から40km圏の多摩南部丘陵に位置し、都市公団が土地区画整理事業により施行する郊外型ニュータウン開発であり、環境共生をまちづくりコンセプトとして、地区面積の21％・約80haの広大な公園緑地をまちの骨格としてネットワークさせ、丘陵地の豊かな自然と融合したアーバンリゾートを目指している。

当該公園は、このニュータウン中央を貫く緑環境軸の中核を成す公園であり、面積の半分を占める豊かな里山を保全するとともに、土地区画整理事業前から地区内にあった桜の巨木を移植した、お花見広

場や多目的芝生広場等で構成され、地域の歴史的景観をとどめた計画となっている。

・平成15年3月事業完了。暫定開放と同時に地元町会の里親管理を開始。平成16年6月30日市へ移管。

## 事業の成果

### (1) 里親(アドプト)管理を意識した市民参加型公園づくり

里山に暮らす伝統文化、知識、技術を、古くからお住まいの方をマイスター(師匠)として、ニュータウンに新しく住まれる人々にも持続的に継承し、この地ならではの暮らしとコミュニティを醸成することを目的に、設計、施工、管理の各段階における参加型公園作りを進めた。

また、地区公園並みの大規模近隣公園での里親管理の実現を通じ、都市管理の新しい姿を示し、八王子市の新施策(公園アドプト制度)を誘引した。

### (2) 当事業の効果

地元町会等地域コミュニティの育成及び町会結成を促進(入居開始から2年余りで発足)

土地の伝統文化の持続的継承と新旧住民の融和(町会管理活動・イベント参加者200～400人)

施行者、管理者、ユーザーの連携による地域に愛される施設の建設(苗木植樹祭参加者200人等)

環境保全型、手作り型を合意、建設コスト縮減、事業費332百万円(事業計画585百万円を253百万円縮減)

行政の管理コスト縮減及び新施策、公園の里親(アドプト制度)を誘引



住民参加型管理



完成記念植樹祭H15.5